

埼玉大学教育実践フォーラム 2023



—明日を拓く学びのイノベーション—

日時： 2023年2月18日(土)
会場： Zoom によるオンライン開催 (一部対面)
主催： 国立大学法人埼玉大学
後援： 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会
埼玉県公立小学校校長会 埼玉県中学校長会
さいたま市立小学校校長会 さいたま市中学校長会

プログラム

教職大学院発表 9:00-10:20 開会挨拶後 学卒1年次生発表
10:40-12:00 2年次生・現職1年次生発表

全体会 13:00-13:15 開会 主催者・来賓挨拶
13:15-14:40 附属学校園の課題と試み

パネルディスカッション

新しい時代の学校教育に向けて —共生・ダイバーシティ社会の担い手づくり—

ラウンドテーブル 15:00-17:00

国語 算数・数学 社会 理科 生活・総合
外国語(英語) 図画工作・美術 音楽
体育・保健体育 技術・情報 家庭
STEAM教育 不登校 教育の多様性保障

◇ 教職大学院発表 ◇ 9:00-12:00 オンラインのみ

※詳しいプログラムは別記※

◇ 全体会 ◇ 13:00-14:40 オンライン・A114 教室で視聴可能 ※別紙チラシ有※

パネルディスカッション：新しい時代の学校教育に向けて ー共生・ダイバーシティ社会の担い手づくりー

趣旨説明：堀田 香織（教育学部長）

ファシリテーター：有川 秀之（教育学部評議員）

附属学校園報告：塩盛 秀雄（附属小学校）

山本 孔紀（附属中学校）

池澤 健（附属特別支援学校）

小谷 宜路（附属幼稚園）

指定討論：田代 美江子（副学長 ダイバーシティ推進センター長）

◇ラウンドテーブル・プログラム◇ 15:00-17:00

○○○○の実施はオンラインのみ（申し込みいただいた方に Zoom 招待状を送付します）

○○○○の実施は対面のみ（申し込みがなくても参加できます。直接会場にお越しください）

【国語】オンラインのみ

内実を重視した柔軟な学びの場の実現

司会：戸田 功（教育学部言語文化講座国語分野）

登壇者：青山 光一（大日向小学校）

酒井 吉宗（栃木県栃木市立大平南中学校）

吉野 竜一（教育学部附属小学校）

笠原 雅広（教育学部附属小学校）

波戸内 友基（教育学部附属小学校）

【算数・数学】オンラインのみ

附属学校教員による算数・数学教育実践研究報告

司会：二宮 裕之（教育学部自然科学講座算数・数学分野）

発表：統合的・発展的に考察する力を育成する数学学習指導

～挑戦心を引き出す発問と単元デザインに焦点を当てて～

奥田 勇司（教育学部附属中学校）

発表：「関数の考え」を活用する児童の育成

～第4学年「変わり方調べ」の実践を通して～

下村 怜史（教育学部附属小学校）

【理科】オンラインのみ

理科教育と自然科学一般

1. 発表「理科各分野（物理・化学・生物・地学・理科教育）の研究紹介」

教育学部理科分野学部生・大学院生・長期研修生

2. 発表「附属小中学校の実践発表・教材紹介」

教育学部附属小・中学校理科部

3. 講演 中島 雅子（教育学部自然科学講座理科分野）

自己評価で授業改善 ―子どもと教師を幸せにする OPPI―

司会：松岡 圭介（教育学部自然科学講座理科分野）

【社会】オンラインのみ

前半：[小学校] **社会がわかり、社会にかかわる児童の育成**

鈴木 一徳（教育学部附属小学校）

村知 直人（教育学部附属小学校）

村橋 直樹（教育学部附属小学校）

後半：[中学校] **公民としての資質・能力の基礎を育成する社会科学習**

～生徒が自ら問い続ける単元計画の工夫～

石高 吉記（教育学部附属中学校）

細野 悠司（教育学部附属中学校）

高橋 佑樹（教育学部附属中学校）

【生活・総合】オンラインのみ

令和の日本型学校教育と生活科 ―個別と協働をつなぐ―

事例提供：「作って ためして」2年生 岸本 真希（鴻巣市立鴻巣中央小学校）

座談会：横田 典久（教育学部附属小学校）

座談会：鈴木 康平（教育学部附属小学校）

司会：宇佐見 香代（教育学部心理・教育実践学講座）

*学びを深める子どもの姿とそこに働きかける教師の姿について、語り合しましょう。

【外国語（英語）】オンラインのみ

外国語科における評価の実際（「思考・判断・表現」を中心に）

奥住 桂（帝京大学教育学部）

蓬澤 守（教育学部附属中学校）

有江 聖（さいたま市立下落合小学校）

及川 賢（教育学部言語文化講座英語分野）

* ご好評だった昨年と同じ 4 人が登壇します。今回は小学校・中学校の実践例を中心に具体的に議論します。

【図画工作・美術】対面のみ 教育学部 D 棟プロジェクト室

美術の価値って何？ —「好き」と「良い」のはざまで自らの価値観を問い直す—

ファシリテーター：納谷 梨花子・日浦 実乃里

（教職大学院芸術系教育 S P〔図工・美術〕）

企画協力： 田端 優一

（教職大学院言語文化系教育 S P〔国語〕）

【音楽】オンラインのみ

児童・生徒が学習のハンドルを握る音楽科授業

— UDL と真正の学びを手がかりに —

企画・司会：森 薫（教育学部芸術講座音楽分野）

1. 音楽科における「真正の学び」観

話題提供：上原 美宮（教職大学院芸術系教育 SP〔音楽〕）

2. 音楽科における UDL(Universal Design for Learning)実践

話題提供：関 真璃亜（教職大学院芸術系教育 SP〔音楽〕）

* 学校教育の今日的課題に音楽科がどのように取り組んでいるのか・取り組んでいけばよいのかについて、話題提供者の報告を材料に、語り合う場です。

【体育・保健体育】オンラインのみ

運動が苦手な児童・生徒に対する配慮と指導を考える

話題提供者：古田 久（教育学部身体文化講座・コーディネーター）

浅間 聖也（教育学部附属小学校）

首藤 祐太郎（教育学部附属小学校）

原賀 祥乃 (教育学部附属中学校)

阿部 健作 (教育学部附属中学校)

山田 大生 (教育学部附属中学校)

【技術・情報】オンラインのみ (別紙チラシ有)

これからの技術・情報教育の在り方

[提案内容 15:00-16:30]

- 1) 脳科学から見たプログラミング教育の意義 15:05~15:20
大妻女子大学 本郷 健
- 2) 「材料と加工の技術」における中高連携したデジタル・ファブリケーション機器を活用する試作学習の指導過程の開発と検証 15:20~15:35
教育学部附属中学校 木村 僚
- 3) 高等学校におけるプログラミング教育実践 15:35~15:50
蓮田松韻高等学校 福島 俊亮
- 4) 「材料と加工の技術」における「設計」を支援する AR 技術の活用 15:50~16:05
山形大学附属中学校 金澤 彰裕
- 5) 「動物に関する教育」の体系的な実施に向けて
～人と動物のかかわりに着目した教科内容学的検討～ 16:05~16:20
東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 岩崎 翼

【グループディスカッション 16:20~16:45】 1) ~5) に分かれて

【グループディスカッション報告 16:45~17:00】 1) ~5) のディスカッションのまとめ提案

指導助言者

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課	林 裕人	2)コーディネーター
さいたま市教育委員会指導1課	清野 耕平	2)コーディネーター
蓮田市黒浜中学校	安藤 義仁	4)コーディネーター
さいたま市立大谷中学校	永谷 和俊	
さいたま市立美園南中学校	宮内 智	
埼玉大学教育学部名誉教授	石田 康幸	5)コーディネーター
日本工業大学	本村 猛能	1)コーディネーター
佐賀大学教育学部名誉教授	角 和博	
群馬大学教育学部	小熊 良一	3)コーディネーター

【家庭】オンラインのみ（別紙チラシ有）

防災・減災と家庭科の授業

1. 防災・減災に関する教材について 下田耕大・境 凌太
(教職大学院生活創造系教育 S P〔家庭〕)

2. 授業実践事例（住分野） 宗 真理子（教育学部附属中学校）

3. 情報提供および協議、情報交換

コーディネーター：亀崎 美苗（教育学部生活創造講座家庭科分野）

司会：島田 玲子（教育学部生活創造講座家庭科分野）

* 今年のラウンドテーブルでは、家庭科の授業における防災・減災に関する実践事例、教材を紹介し、後半には参加の皆さんで意見交換・情報共有を行います。

【STEAM 教育】対面のみ 教育学部 A 棟 114 教室

ICT 活用による学びの個別最適化と STEAM 教育

コーディネーター：野村 泰朗（教育学部心理・教育実践学講座
・STEM 教育研究センター）

1. 富士見市 STEM 教育プロジェクトと小学校への実装

～ふじみ野小学校での取り組みから見る実践に教員を巻き込むポイント～

富士見市立ふじみ野小学校 馬場 真行

富士見市立ふじみ野小学校 山崎 絢太

2. さいたま市 STEAMS 教育プロジェクトへの取り組み

～美園中学校での取り組みから見る STEM 教育実装のために学校、生徒、家庭や地域を巻き込む仕掛け作りとカリキュラムマネジメントのポイント～

さいたま市立美園中学校 小田切 倫子

さいたま市立美園中学校 友光 里恵

3. STEM 教育研究センターの活動報告

～1年間の取り組みとギガスクール事業が教育現場にもたらす課題～

教育学部心理・教育実践学講座 野村 泰朗

4. 質疑と討論

※STEM 教育の実践に関わるトピックを自由に取り上げます

・STEM 教育とプログラミング教育

・ものづくりと造形、技術と美術・図画工作、…

などなど、その場でも気軽に投げかけてください。

【不登校】対面のみ 教育学部 A 棟 324 教室 (別紙チラシ有)

保護者・学校・行政・支援者などの相互理解と協働のあり方を考える

企画・司会： 馬場 久志 (教育学部心理・教育実践学講座)
お話：県教委から 小西 康雄 (県教育局生徒指導課)
親の会から 唐澤 恵子 (不登校・ひきこもりを考える埼玉県連絡会)
鹿川 徳子 (不登校・ひきこもりを考える埼玉県連絡会)
フリースクールから 天羽 芙美子 (東京大志学園)

*この 10 数年に及ぶ「官民連携会議」や「不登校セミナー」の歩みを手がかりに、連携に必要なことは何か、子どもたちにとって大事なことは何かを考えます。

【教育の多様性保障】オンラインのみ

学びの場の多様性と包摂:教育学、心理学、生物学・生態学の立場から

企画・司会： 葉石 光一 (教育学部特別支援教育講座)

話題提供

- ① 特別支援教育から 山中 冴子 (教育学部特別支援教育講座)
- ② 特別支援教育から 名越 斉子 (教育学部特別支援教育講座)
- ③ 多文化教育から 磯田 三津子 (教育学部心理・教育実践学講座)
- ④ 生物学・生態学から 荒木 祐二 (生活創造講座技術分野)
- ⑤ 生物学・生態学から 日比野 拓 (自然科学講座理科分野)

*共生のあり方を探る手がかりを得ることを目的として、特別支援教育、多文化教育、生物学・生態学の分野から話題提供を受けます。

課題研究発表会プログラム 令和5年2月18日(土)

Zoomに接続していただいた後、さらにブレイクアウト・ルームに分かれます。聞きたい発表の時間帯とルーム番号を、以下から確認の上ご参加ください。

M1 学卒院生 発表プログラム 9:20~10:20 *発表要旨を見るには、おしらせしたGoogleドライブのフォルダから、ルーム番号・順番・氏名で要旨ファイルを探して、ダウンロードしてください。

ルーム1

①	9:20~	学校構想	宮田 将吾	学校教育におけるレジリエンス育成の可能性について
②	9:35~	学校構想	高橋 航太	Q-Uを活用した学級経営における学級づくりの実践の考察
③	9:50~	学校構想	坂本 勇真	家庭内教育及び家庭内環境が子どもの人格形成においてどのような影響を及ぼすか
④	10:05~	学校構想	小林 美理姫	学級生活を通して道徳性を育む意義について

ルーム2

①	9:20~	学校構想	丸山 貴宏	いじめにおける未然防止の実態と可能性
②	9:35~	学校構想	脇田 峻太郎	実生活・実社会の事象と教科内容とを関連づけることを通して学ぶ意義を理解させ主体的に学ぶ態度を育む指導法に関する研究
③	9:50~	特別支援	松山 日南	特別支援教育における就学支援の在り方と課題に関する研究 —就学前機関との連携に注目して—
④	10:05~	学校保健	小野 愛以	食物アレルギー対応に関するヒヤリハット調査

ルーム3

①	9:20~	学校保健	津谷 万柚子	児童の保健室利用の実態とその課題解決に向けた効果的な実践についての研究
②	9:35~	学校保健	中村 美保	中学生の栄養摂取状況と健康、発達の関連について
③	9:50~	子ども共育(幼児)	高井 遥香	子どもの「聞かれる権利」を保障するための保育者の関わり
④	10:05~	言語(国語)	鹿島 脩太	漢語の構成から始める古典への意欲を高める実践 -ツールとしての訓読を通して-

ルーム4

①	9:20~	言語(国語)	田端 優一	演劇的手法を用いたコミュニケーション教育の実践と考察 —高等学校における言語活動の促進のために—
②	9:35~	言語(国語)	深瀬 雄幹	高等学校における批判的思考力を育む国語科指導に関する研究
③	9:50~	言語(国語)	井上 彩里	中学校国語科「読むこと」領域におけるICT活用の可能性 —思考力育成を目的として—
④	10:05~	言語(英語)	長谷川 歩香	中学校における思考力・判断力・表現力の育成—英語科の事例を通して—

ルーム5

①	9:20~	言語(英語)	角田 昌也	英語を苦手とする高校生に対する指導法の研究
②	9:35~	言語(英語)	向坪 涼夏	中学校英語科における評価の具体的方法について
③	9:50~	自然(数学)	千葉 佳奈恵	中学校数学科における操作的な数学的活動に関する考察 —折り紙を用いた一刀切りに着目して—
④	10:05~	自然(数学)	赤塚 久俊	問題解決学習における問題の設定に関する研究

ルーム6

①	9:20~	自然(数学)	横田 康樹	ICTを用いた数学の授業に関する研究
---	-------	--------	-------	--------------------

②	9:35～	自然(数学)	山本 紗希	データの個数に着目したドットプロットから度数分布表へのつながりに関する一考察
③	9:50～	自然(数学)	立原 幹之	微分方程式によるバスケットボールを題材とした教材開発に向けて -漫画『黒子のバスケ』の一場面に着目して-
④	10:05～	自然(数学)	木村 五音	数学へと繋がる算数の学習に関する研究-内容の系統性に焦点を当てて-

ルーム7

①	9:20～	自然(数学)	紋谷 恒洋	色板を用いたピクトグラム表現に関する一考察 -東京都内私立大学大学院生を対象としたワークショップを通して-
②	9:35～	自然(数学)	山田 理智	そろばんの仕組みに着目した教材開発に向けて -「二進数そろばん」による計算を通して-
③	9:50～	自然(数学)	山本 柚	関数電卓使用を前提とする2乗に反比例する関数の教材開発
④	10:05～	自然(理科)	吉田 敏康	中学校理科授業におけるICTの効果的活用

ルーム8

①	9:20～	自然(理科)	小川 梨穂	測定機器のデジタル化とSTEM教育への活用についての研究
②	9:35～	自然(理科)	畔蒜 里奈	学習意欲の向上を目指した理科授業の展開
③	9:50～	自然(理科)	貝瀬 梨菜	実験レポートにおける結果と考察の書き方の指導
④	10:05～	自然(理科)	三浦 脩	チョコレートマグマを用いた溶岩のモデル実験 -チョコレート結晶のレーザー顕微鏡分析-

ルーム9

①	9:20～	芸術(音楽)	上原 美宮	「オーナーシップ」を育む音楽科授業の在り方に関する研究 -真正の学びを実現するために-
②	9:35～	芸術(音楽)	関 真璃亜	小学校音楽科におけるUDLを導入した器楽授業 -鍵盤ハーモニカを中心に-
③	9:50～	芸術(美術)	納谷 梨花子	図画工作・美術科における「製作後」の作品に関わる研究
④	10:05～	芸術(美術)	日浦 実乃里	ICTを活用した図画工作科教育の授業実践と研究

ルーム10

①	9:20～	身体文化	松川 佳瑚	体育の授業におけるICTの有効活用 -子どもの学習意欲向上を目指して-
②	9:35～	生活(技術)	小浦 一	設計の課題の発見を支援するAR技術を活用した「材料と加工の技術」の授業実践
③	9:50～	生活(技術)	森田 啓斗	「生物育成の技術」の栽培計画に関する授業実践モデルの検討
④	10:05～	生活(家庭)	境 凌太	家庭科教育における学習内容の定着向上に効果的な教材研究

M2 M1現職発表プログラム 10:40～12:00

ルーム1

*発表要旨を見るには、おしらせしたGoogleドライブのフォルダから、ルーム番号・順番・氏名で要旨ファイルを探して、ダウンロードしてください。

①	10:40～	学校構想	三好 麗	エビデンスに基づく教育実践
②	11:00～	学校構想	小本 翔	異文化理解を見据えた小学校外国語科の授業デザイン -ALTとの交流研修と参加教師へのインタビューの考察を通して-

③	11:20～	子ども共育 (教育)	山田 昌吾	質の高い学びを目指した校内授業研究の理論と実践 —子どもの学びに着目した省察的实践家としての教師集団の形成過程—
④	11:40～	特別支援	比嘉 亮太	応用行動分析学を活用した適切な行動へと導く支援 —「気になる行動への支援ガイドブック」の活用を通して—

ルーム 2

①	10:40～	特別支援	神保 総男	主体的に学び続ける教員を育てるための特別支援学校における校内研修 —UDLガイドライン活用の可能性—
②	11:00～	特別支援	古屋 真菜	小学校知的障害特別支援学級における外国語教育
③	11:20～	子ども共育 (幼児)	高瀬 ますみ	子どもの自己自身の姿としての「ありのまま」理解と保育の在り方の探求 —レジェン・エミリア「子どもたちの100の言葉」を通して—
④	11:40～	社会	伊波 大夢	小学校社会科における思考力の育成の研究

ルーム 3

①	10:40～	身体文化	佐藤 彩弥	主体的に学習する面白さを味わわせ、生涯スポーツへの意識を高める体育授業の研究 —陸上競技(長距離走)の単元デザイン工夫—
②	11:00～	言語(英語)	那須川 千晶	即興でのスピーキングをゴールとしたコミュニカティブなアウトプット活動を探る
③	11:20～	身体文化	長谷部 佑太	できる・かかわる・わかる喜びを味わわせ、運動が好きな児童を育成するための指導方法の工夫 —小学校低学年、体づくりの運動遊びのかかわり合いに焦点を当てて—
④	11:40～	身体文化	清水 勇人	ファシリテーションの技法を生かした研究協議の在り方 —4つのフェーズ(場面)に着目して—

ルーム 4

①	10:40～	学校構想	鶴岡 謙介	教育学部生の教職イメージとその形成に関する一考察 —現職教員の教職意識との比較をもとに—
②	11:00～	学校構想	齋藤 凜子	教員同士の連携・コミュニケーションの在り方について —小学校教員の語りから—
③	11:20～	学校構想	島崎 皓太	学童保育における向社会的行動と過剰適応の関係 —夏休み期間のレクリエーション参与観察を通して—
④	11:40～	学校構想	川原 竜平	児童期の自己理解の実態をとらえた教育実践と支援 —学級生活を通じた公的自己の変容から—

ルーム 5

①	10:40～	特別支援	織田 あおい	知的障害児における主体的・対話的で深い学びを引き出す教育的ニーズに応じた授業設計に関する研究
②	11:00～	特別支援	清水 あゆみ	知的障害児における学習活動への主体的な参加を促す支援に関する研究
③	11:20～	特別支援	山口 和輝	知的障害特別支援学校高等部におけるキャリア教育の在り方と課題に関する研究 —生徒の自己実現に向けた自己理解を促す取り組みについて—
④	11:40～	特別支援	田村 舞	特別支援学校の特別支援教育コーディネーターによる学校コンサルテーションに関する研究 —通常学校教員との協働に向けた取り組み—

ルーム 6

①	10:40～	学校保健	黒木 結菜	中学生における栄養摂取状況と食事内容の変化
②	11:00～	言語(国語)	山田 真由	中・高等学校における古典の学習活動に関する実践的研究 —演劇やリライトを通して古典に親しむ態度の育成を図る—
③	11:20～	社会	小池 美花	地域素材を活用した中学校社会科授業の検討—熊谷空襲の教材化—

ルーム 7

①	10:40～	社会	鈴木 大翔	社会科教育の授業開発と子ども理解
②	11:00～	社会	小見 和也	「身近」に学ぶ中学校社会科の教材開発と実践
③	11:20～	社会	原口 芽	世界史教科書におけるイスラーム記述の分析 —前近代を中心に—

④	11:40～	自然(数学)	棚澤 日菜子	関数電卓使用を前提とするモデリング授業の実践報告 -ピタゴラス音律と複利計算を題材として-
---	--------	--------	--------	--

ルーム 8

①	10:40～	自然(数学)	松井 雄一郎	小学生を対象とするモデリング授業の実践報告 Kinectのモーション・キャプチャ機能に着目して-
②	11:00～	自然(数学)	久保 直希	協働的な学びを促す数学指導に関する研究 -オープンエンドな問題を用いた事例の検討-
③	11:20～	自然(数学)	長島 晴彦	生徒間の「創発」が促される授業に関する研究 -対話的な学びの活性化を目指して-
④	11:40～	自然(理科)	千田 将貴	小学校理科にSDGsを関連づける理論と実践に関する研究

ルーム 9

①	10:40～	自然(理科)	石井 玲央	高等学校におけるICT機器の効果的活用の検討 -生物科目の授業実践および学校生活における考察-
②	11:00～	自然(理科)	柴田 大介	中学校理科における火山噴火教材 -キッチンサイエンスに基づくアナログ実験教材-
③	11:20～	自然(理科)	古矢 善人	電磁石の理解を深めるためのモールス電信機の試作
④	11:40～	自然(理科)	宮城 律暉	マイコンボードを利用した計測システムの開発

ルーム10

①	10:40～	芸術(美術)	三橋 咲希	小学校図画工作科におけるICTを用いた実践 -興味を引き出す美術鑑賞レクリエーション-
②	11:00～	芸術(美術)	荒井 理子	子供同士が認め合う環境を創出する図画工作科の授業研究
③	11:20～	身体文化	山田 大地	東洋的身体技法の教材化 -高等学校の体づくり運動を対象に-
④	11:40～	生活(技術)	渡邊 晶	中学校技術・家庭科(技術分野)における効果的なICT機器活用に関する事例研究

ルーム11

①	10:40～	生活(技術)	霜田 航貴	技術科教育の「生物育成の技術」に関する授業実践モデルの研究
②	11:00～	生活(技術)	島崎 幹大	スクールガーデンの活用に向けた植物系堆肥の運用に関する基礎的研究
③	11:20～	生活(家庭)	下田 耕大	家庭科住領域における防災教育の授業展開